

平成 27 年度決算の概要

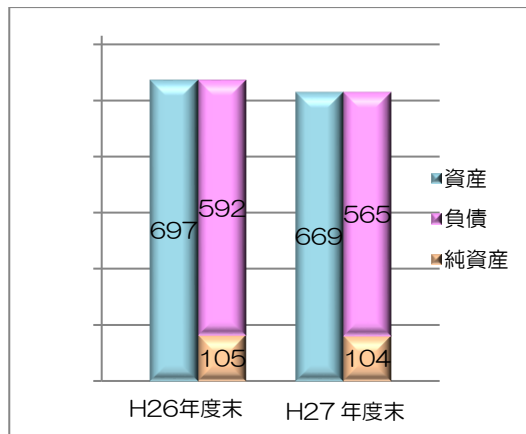
消費税負担の増等、医療を取り巻く環境が厳しさを増す中、職員一丸となって経営改善策を実施することにより、収益の改善や経費の削減等に努めたものの、高度医療の提供等による費用の増加に伴い、経常損益及び当期純損益については、約3億円の赤字となりました。

経営に対する取り組みとしては、年度計画の達成に向け、院長による全部門ヒアリングを引き続き実施し、組織目標や課題認識の共有、課題解決への取り組みを通して、PDCAサイクルの確立や全職員の経営意識の向上を図りました。

単年度資金収支については、現中央市民病院整備にかかる借入金返済額がピークの年であったため、18億円の赤字となっています。

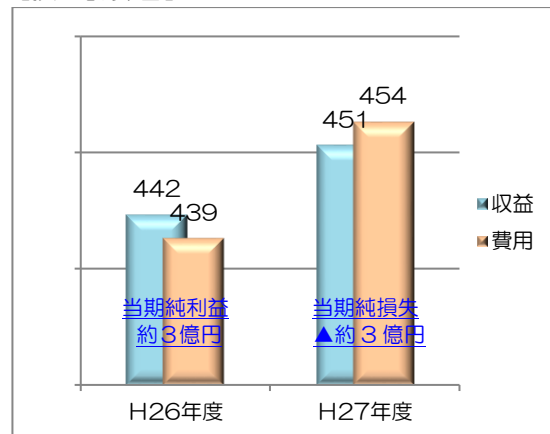
平成 27 年度財務状況

【貸借対照表】



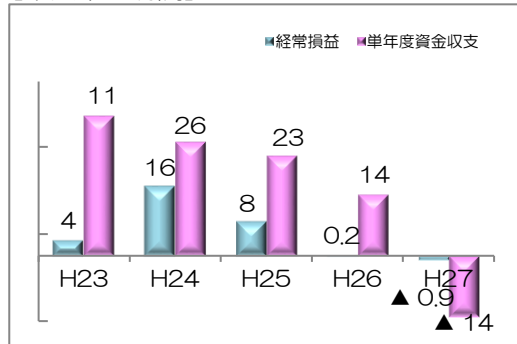
【損益計算書】

(単位：億円)



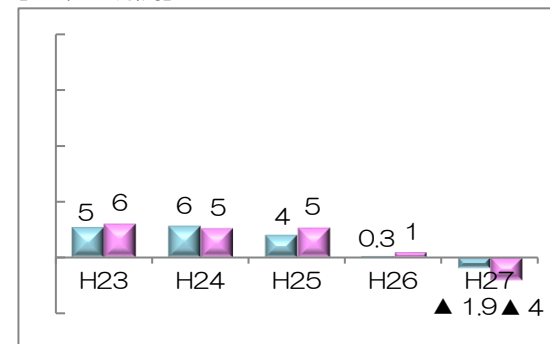
病院別経営状況

【中央市民病院】



【西市民病院】

(単位：億円)



平成 28 年度においては、さらなる収益の確保や固定費を中心とした費用の削減に積極的に取り組み、年度計画の着実な実行及び達成に引き続き努めます。また、地域医療の中核を担い、質の高い医療の提供、患者サービスの一層の向上、地域医療機関等との連携強化に努め、だれもが安心して医療を受けられる病院を目指し、今後も市民の生命と健康を守るという市民病院としての使命を果たし続けていきます。